

県北地域の災害時備蓄・装備品の共同調達に関する
調査分析事業委託業務仕様書に係る質問・回答

【質問】

4.業務内容（1）について、先進事例のヒアリング実施方法の指定（対面もしくはオンライン／聞き取り形式もしくはアンケート形式）はあるか。

【回答】

特段の指定はない。

【質問】

4.業務内容(2)について、9市町村へのヒアリング調査の実施方法の指定（対面もしくはオンライン／個別もしくは合同／聞き取り形式もしくはアンケート形式）はあるか。

【回答】

特段の指定はない。

【質問】

4.業務内容（4）および（5）について、各会議での資料の説明は、発注者もしくは受注者のどちらが行うことを想定しているか。

【回答】

受注者を想定している。

【質問】

4.業務内容（4）および（5）について、委員は「9市町村の実務担当者」としているが、このほか学識経験者をアドバイザーとして招くことは想定しているか。また、招く場合は、現時点でどなたを想定しているか。

【回答】

現段階では有識者をアドバイザーとして招くことは想定していない。

【質問】

打合せの回数は何回程度を想定しているか。また、協議内容次第でオンラインでの実施も可能か。

【回答】

打合せについては必要に応じて随時行うことを想定しているが、最低限、各ワーキング前（年3回）、理事会前（年2回）、報告書提出前の計6回は行うことを想定している。なお、オンラインでの打合せも可能。

【質問】

4.業務内容(2)に示される「9市町村へのヒアリング調査」は、web 会議によるものでよいか。

【回答】

特段の指定はない。

【質問】

4.業務内容(3)に示される「共同調達の商品目、量」の成果物は、ワーキンググループ会議で業務期間中に合意形成される具体的な内容か。それとも、実現可能性に関わらず、今後必要とされる物品として事務局案としての「調査研究報告」になるか。

【回答】

ワーキング会議等で合意形成される最低限必要な品目、量と実現可能性に関わらず理想とする品目、量の両方を報告書に記載いただきたい。

【質問】

4.業務内容(3)に示される、「災害時備蓄品・装備品の共同調達の運用体制の検討」に向けては、北部地域市町村の全ての地域防災計画や災害時対応マニュアル等の関連計画の対応内容を整理・分析し、その内容を踏まえたうえで、管理・運用体制を検討すると考えてよろしいか。

【回答】

認識のとおり。

【質問】

災害時備蓄・装備品の対象は、北部地域市町村の自主防災組織等の地域住民が連携した組織が備蓄している備蓄・装備品も対象として個別に調査を行うと考えてよろしいか。

【回答】

個別の調査までは想定していないが、4.業務内容(2)9市町村へのヒアリング調査の際に各自治体が把握している内容については反映していただくことを想定している。

【質問】

業務の進行、ワーキンググループ会議、理事会等の諸調整及び打合せ会議は、受託者は延岡市役所企画課と実施し、その他の市町村の事務局との諸調整は延岡市役所企画課がされるという認識でよいか。

【回答】

認識のとおり。

【質問】

ワーキンググループ会議・理事会の実施時期、参加予定人数、会議開催予定時間は決まっているか。

【回答】

現時点での実施時期等は以下のとおりである。

○理事会

- ・開催日：8/19（1回目） 1/29（2回目）
- ・参加者数：9名（理事の数）

○ワーキング

- ・開催日：1回目の理事会前に1回は開催予定
- ・参加者数：11名を想定